

国宝 金峯山寺二王門 素屋根解体等工事実施設計業務委託 仕様書

1. 業務名称 国宝 金峯山寺二王門 素屋根解体等工事実施設計業務

2. 履行期限

令和8年8月28日

成果物提出場所は、奈良県文化財保存事務所金峯山寺出張所 とする。

3. 業務の概要

下記工事の実実施設計業務

・ 国宝金峯山寺二王門素屋根解体等工事

当工事は、国宝金峯山寺二王門保存修理工事に係る全天候型仮設足場を解体撤去するものである。二王門の素屋根は、上部架構をスライド工法によって組み立てられたため、同工法によっての解体を想定しているが、もし、ほかに安全、かつ経済的・効率的な解体方法が考案できる場合には、早期にこれを提案すること。

素屋根の構造および規模は、S造、3階建て、建築面積：934.69㎡、延べ面積：2,199.90㎡、各階に作業床および資材収納棚、各階鋼製階段を内部に設けている。設備は、各階に照明設備、コンセント、天井高にクレーンを備える。

金峯山寺二王門の建つ吉野山は、文化財保護法、自然公園法によって、工作物の設置、土地の形質変更、樹木の伐採等が厳しく制限されているので、工事に当たっては留意が必要である。

4. 一般事項

4-1 法令の遵守

設計図書の作成に当たって、受託者（以下「乙」という。）は、建築基準法、消防法、その他関係法規を遵守し、工事目的物が発注者奈良県（以下「甲」という。）の意図するように、参拝者、二王門や他の建物に対して安全で、且つ円滑に解体・撤去され、発生した廃材は適切に処分されるように設計する。

4-2 設計等

二王門の素屋根は、スライド工法によって組み立てられたため、本業務は、原則として、組立て時の図面を参考として、スライド工法によって解体するための設計図書作成を想定している。金峯山寺境内は、文化財保護法、自然公園法によって、工作物の設置、土地の形質変更、樹木の伐採等が厳しく制限されている。このことを十分認識した上で設計する。

4-3 工事費の見積

乙が提示する工事費の見積金額は、原則として甲の指示する予定額の範囲内とする。

5. 貸与資料等

既存建築物設計図書一式

「国宝金峯山寺二王門素屋根建設工事 設計図」

「国宝金峯山寺二王門素屋根建設工事 数量調書」

6. 調査・打ち合わせ及び記録

6-1 関係機関との打ち合わせ等

現地調査及び関係機関との打ち合わせを行った時は、速やかに記録を作成し、その都度甲に提出する。なお、業務完了時には、まとめたものを甲に提出する。

6-2 敷地調査

敷地調査は、解体工事設計に先立ち、必ず実施する。工作物を含む既存建築物や樹木の位置、境内通路、前面道路の状況、参拝者等の動線を把握して、解体工事の作業場の設定を係員と協議し、設計図書に反映させる。

7. 設計（積算）

7-1 建造物（素屋根）概要

構造種別：鉄骨造

階数：地上3階

建築面積：934.69m²

延べ面積：2,199.90m²

平面：各階に作業床、資材収納棚、および鋼製階段

屋根：波形鋼板葺き、折板葺き（一部ポリカーポネート板）

外壁：防炎シート、メッシュシート、万能堀

建具：鋼製建具、パネルゲート

登り橋：鉄骨造及び単管組、足場板敷詰め

設備：各階に照明設備、コンセント

天井高にクレーン

7-2 工事費積算

積算は、甲が提示する建設時の設計図書をもとに行うほか、以下の事項を反映したものとする。

7-2-1

工事費積算内訳書は工種ごとに作成し、単価算出根拠を明確にする。この時、可能な限り代価表を設定すること。

7-2-2

基礎コンクリートの解体は、振動・粉塵等が周囲に極力影響を及ぼさない工法で行う。基本的には現地でブロックに解体し、所定の場所に搬出した後、運搬可能な大きさに細分する。その場合も、周りの環境等には十分に配慮した工法を用いる。

7-2-3

躯体（鉄骨）の解体は、指定の場所まで搬出してから、運搬可能な大きさに細分し、場外搬出する。

7-2-4

解体する部材はリサイクルが可能な材（鉄材、コンクリート塊、木材等）、産業廃棄物として処分する材に区分して算出し、工事費と相殺する。

7-2-5

工事区分は以下を参照する。

直接工事

○建築工事

- ・直接仮設工事
 - 外部足場
 - 内部足場
 - スライド用鉄骨足場
 - 安全ネット等の設置
- ・地業等撤去工事
 - 既設排水溝U形側溝養生撤去
 - 真砂土敷き撤去
 - ポリエチレンフィルム撤去
 - 調整コンクリート撤去
- ・躯体撤去工事
 - 基礎コンクリート解体のうえ撤去
 - 土間コンクリート撤去
 - コンクリートブロック撤去
 - 鉄骨取り壊し及び運搬
- ・屋根及び外装仕上げ撤去
 - 屋根材取り壊し及び撤去
 - 外壁材取り壊し及び撤去
 - 外装材取り壊し及び撤去
 - 排水施設撤去
- ・内装仕上げ撤去

内装材解体及び積み込み
建具類解体及び積み込み
階段施設解体及び積み込み
キャットウォーク解体及び積み込み
点検施設解体及び積み込み
壁下地及び壁解体及び積み込み
クレーン解体

○電気設備工事解体及び撤去工事

- ・電力引き込み設備
- ・幹線設備
- ・動力設備
- ・電灯・コンセント設備
- ・照明器具設備
- ・電話設備（防災用）
- ・防犯設備
- ・防災設備
- ・避雷設備

○機械設備解体及び撤去工事

- ・給排水設備
- ・消火設備

7-3 工事に係る工程表

乙は設計図書を作成したときは、その設計図書に基づき、工事に係る工程表を作成し、甲に提出する。

7-4

貸与資料の返還

乙は、甲から貸与された設計及び積算の資料を、設計図書等の引渡しと同時に返還しなければならない。

8. 成果物

成果物は業務報告書、設計図書（積算書・仕様書・設計図）各3部及び電子データとする。

8-1 中間報告書

・必要に応じて、中間報告を行う。設計図書作成前には、その与条件設定のための資料を提出のこと。

8-2 最終成果物（素屋根解体工事設計業務報告書）

- ・業務報告書：A4 簡易製本
- ・積算書・仕様書：A4 簡易製本
- ・設計図：A2 版製本
- ・電子データ（テキスト編集可能な形式）

8-3 最終成果物内訳

8-3-1 業務報告書

- ・関係法令チェックリスト
- ・建築基準法、消防法等提出図書
- ・諸官庁等届出書類
- ・作業日報
- ・打合せ記録簿
- ・現場説明用図書

8-3-2 積算書

- ・建築積算
建築工事積算数量算出書

- 建築工事積算数量調書
- 見積書等関係資料
- 工事費概算書
- ・電気設備積算
 - 電気設備工事積算数量算出書
 - 電気設備工事積算数量調書
 - 見積書等関係資料
 - 工事費概算書
- ・機械設備積算
 - 機械設備工事積算数量算出書
 - 設備工事積算数量調書
 - 見積書等関係資料
 - 工事費概算書
- ・その他
 - リサイクル計画書
- ・資料
 - 各種技術資料
 - 構造計算データ
 - 各記録書
- 8-3-3 仕様書
 - ・建築物概要書
 - ・建築物仕様書
 - ・電気設備仕様書
 - ・機械設備仕様書
- 8-3-4 設計図（図面目録の想定）
 - ・特記仕様書
 - ・工事概要・求積図
 - ・付近見取図
 - ・配置図
 - ・仕上表
 - ・平面図
 - ・断面図
 - ・立面図
 - ・矩計図
 - ・平面詳細図
 - ・部分詳細図
 - ・伏図（各レベル）
 - ・構造基準図
 - ・軸組図
 - ・捨てコンクリート・VU管図
 - ・外構復旧図
 - ・外構復旧詳細図
 - ・擁壁詳細図
 - ・仮設計画図
 - ・スライドSTEP 図
 - ・スライド部分詳細図
 - ・設備復旧図
 - ・各部詳細図
 - 等

9. その他の留意事項

9-1 工事費概算書の作成

- ・概算書の作成については、工事種別毎の概数を算出し、公共単価、建設物価、積算資料等の活用、見積書の徴収等により、積算するものとする。
- ・概算書の作成については、「MicrosoftExcel（2000以上）forWindows」を用いるものとする。なお、書式については、内訳書・内訳明細・代価表の構成とし、あらかじめ係員の承諾を受けるものとする。

9-2 原図用紙

- ・設計図の用紙は、原則としてトレーシングペーパー（A1版又はA2版）とする。
- ・計算書の用紙は、原則としてA4版とする。

9-3 関係法令等手続き

- ・関係法令等手続きにより図面の修正が生じた場合、図面の修正を行うこと。

以上の内容で不明な点は、下記まで問い合わせのこと。

奈良県地域創造部 文化財保存事務所
金峯山寺出張所
TEL&FAX 0746-34-5020
(担当) 竹口